

TOPIC

1

アイヌ民族映画に協力や支援

11
18

ロケツーリズム推進プロジェクト

本町で制作されるアイヌ民族をテーマにした映画への協力や支援等をするため「『ウレシパ・シリリカ』ロケツーリズム推進プロジェクト実行委員会（高橋隆助会長・商工会長）」を立ち上げました。実行委員会の委員は経済関係やアイヌ関連団体の代表者など10人。

映画の制作費5億円（予定）を、国の「企業版ふるさと納税」制度を活用して3年間で集め、町から実行委員会へ補助金として交付。実行委員会から映画制作の主体となる合同会社プロテカへ支出します。



11月18日に役場で行われた第1回実行委員会の様子



前列中央左から優秀賞に選ばれた遠藤さんと芳澤さん。

TOPIC

2

優秀賞に芳澤実祈さん（白中3年）と遠藤綾さん（庶路8年）

11
19

自然の番人宣言コンクール表彰式

釧路管内の小中学生を対象にした「自然の番人宣言」のポスターコンクール表彰式が役場で行われ、優秀作品（優秀賞2点、佳作9点）に選ばれた中学生11人に棚野町長から表彰状が贈られました。

同コンクールは、ポイ捨てや不法投棄をなくそうと毎年開かれており、今年は61点の応募がありました。

優秀賞を受賞した遠藤綾さん（庶路8年）は「通学路にごみが落ちていることがあるので、ポイ捨てが減ったらいいと思います」と話していました。

TOPIC

3

白糠中と白糠高が共同企画

11
20

白糠高校教諭「数学出前授業」

白糠中学校（佐藤毅校長）で白糠高校の教諭を招いた「数学出前授業」が行われました。同授業は白糠小、中学校が来年、校舎改築のため高校に一時移転することから、生徒の不安を解消するとともに、高校の授業に興味を持ってもらうことを目的としています。

菊池章仁教諭が「数学を使わない数学を学ぼう」と題して授業を行い、希望した8人の生徒が参加しました。遠藤魁人さん（3年）は「とても楽しく、あっという間に時間が過ぎました」と話していました。



菊池教諭（右から5番目）とサポートの佐藤峻教諭（1番左）